



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	看護学部 看護学科
書 名	無名（幻冬舎文庫）
著 者 名	沢木耕太郎
出版社名	幻冬舎
推薦書評 コメント (50字～200字)	父が、ある夏の終わりに脳の出血のため入院します。混濁してゆく意識、肺炎の併発、抗生物質の投与、そして在宅看護。病床の父を見守りながら、息子は無数の記憶を掘り起こし、その無名の人生の軌跡を辿ります。生きて死ぬことの厳粛な営みが静かに綴られています。『深夜特急』を読んだ方も読んでいない方も、沢木耕太郎の描く世界に入り込んでみませんか。
所 在	5F開架ポピュラーライブラリー
請求記号	BK
資料ID	14047484



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	看護学部 看護学科
書名	ボクはやっと認知症のことがわかった －自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言
著者名	長谷川和夫
出版社名	KADOKAWA
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>著者は、認知症診断の物差しとなる「長谷川式簡易知能スケール」を開発し、「パーソン・センタード・ケア(その人中心のケア)」の普及に務めるなど、認知症医療だけでなく、ケアの第一人者としても知られている。著者自らが認知症となり、自分の経験を通して認知症という疾患やその生活について感じたことを書いている。</p> <p>「認知症の人を、ただ『支えられる人』にして、すべての役割を奪わないということも心がけていただきたい」と訴えており、医療者となる人にはぜひ読んでいただきたい本です。</p>
所在	7F開架閲覧室
請求記号	493.758/H36
資料ID	13833583



読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	看護学部 看護学科
書名	ユマニチュード入門
著者名	本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ
出版社名	医学書院
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>病院や施設で医療者に対し攻撃的になったり、徘徊する認知症高齢者がいる。しかし「見る」「話す」「触れる」「立つ」という看護の基本中の基本を「ユマニチュード」という技法を用い徹底させることで、これらは改善するという。「魔法のよう」と称されることもあるが、それは人に伝えることができる技術。</p> <p>この本を読み、その技術のコツを知り、看護に活かしてほしいと思います。</p>
所在	6F開架閲覧室
請求記号	369.26/H84
資料ID	14047492